

食と農を結ぶ青果ネットカタログ「SEICA」

- 最先端技術による農産物の情報開示 -

技術の内容

1. 消費者が購入商品の履歴情報等をWebで確認できるシステム
(iモード、EZweb、J-スカイ等、各社の**携帯電話に対応**、PCと同じURLで検索可能)
2. カタログ番号とWebアドレスで個体管理と情報公開
(**ビジネスモデル特許**: 特許第3355366号)
3. 誰でも、どこからでも、品目ごとに[生産物情報]、[生産者情報]、[出荷情報]を**登録及び閲覧**が可能 (画像・音声もOK)
4. あらゆる**野菜と果実**を対象(約1700品目) **米・茶**も可能
5. **無料**で登録、閲覧が可能な**公的データベース**
(食流機構が所有、食総研が運用、農林水産研究計算センターが協力、で運営)
6. 消費者(BtoC)、流通業者(BtoB)の双方で利用が可能
7. インターネットと世界規格(XML/SOAP)に対応した汎用性 → 専用ソフト不要
8. 次世代Web技術(**XML Webサービス**)の採用により、民間が独自サービスを提供できる拡張性
→ 店頭表示、独自機能等を付加した外部システムが構築可能

SEICA
<http://seica.info>代表研究者: 杉山 純一
所 属: 食品工学部 電磁波情報工学研究室問合わせ先: 研究交流科 関谷 修三
e-mail: atunisi@nfri.affrc.go.jp独立行政法人
食品総合研究所